

令和4年度 第7回 江南区自治協議会

日時：令和4年10月27日（木）午後1時30分～

会場：江南区役所 3階 302会議室

○土田地域総務課長補佐

本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので令和4年度第7回江南区自治協議会を開催させていただきます。

当会議につきましては公開することとし、記録作成のため録音及び撮影をさせていただきますのでご承知おきください。

資料の確認をお願いします。

(資料確認)

○土田地域総務課長補佐

本日の会議について、坂井委員、齋藤委員、長場委員、山本委員、和澄委員、工藤委員、松野委員、安久津委員から欠席のご報告をいただいております。

2. 会長あいさつ

○土田地域総務課長補佐

それでは、開会に伴いまして、はじめに、小林会長からご挨拶お願いいたします。

(会長あいさつ)

3. 議題

(1) 令和5年度特色ある区づくり予算に係る各部会からの意見・提案について

○小林会長

それでは、次第にのっとなって進めていきたいと思っております。毎度のことですが、ご意見、ご質問のある方は、挙手の上、簡潔明瞭にお願いいたします。

はじめに、令和5年度特色ある区づくり予算に係る各部会からの意見・提案等につきまして、各部会長より説明をお願いしたいと思います。

はじめに、まちづくり部会、田村部会長、お願いいたします。

○田村委員

私から説明させていただきます。お手元の資料 1 に基づきまして、まちづくり部会より意見、提案いたします。

まず、区役所企画事業への意見・提案ですが、「農に親しむ」について。地産地消の交流拠点が求められることから、農産物直売所への支援が必要といった声や、事業は、外向けへの PR だけではなく、地元生産者が抱える課題の解決に繋がる取組みが必要であり、いろいろな困りごとを相談できる場や、情報をわかりやすく発信してはどうかという意見がございました。

「地域商業活性化支援事業」につきましては、来年度、これから第 8 波などが懸念される場所ですけれども、地域の商店もさまざまな業種において厳しい状況が続いていることから、今年度と同等以上の予算配分をお願いします。

「江南区を PR」魅力発信プロジェクトについては、今後検討される交流イベントについて、当事者がスタッフとしてかかわることや、県外向けアピールだけではなく、県内に来ている学生へもアピールをして、新潟のよいところを知ってもらい、残ってもらうという視点が必要ではないか。また、レベルの高い動画の作成を望む声などもありました。

「いい汗いい食江南健幸ライド」につきましては、引き続き区民の健康増進に寄与するよう、参加しやすい内容の検討をお願いしたいこと。

「こあがの川フィッシング大会」は、今回の開催結果を踏まえ、回数を増やしてほしいという意見がございました。

次に、新たな取組みといたしましては、漁協と連携した取組みをして、子どもへの地元への愛着の醸成のため、漁の見学や体験の取組みを検討してはどうかといった意見がありました。まずは漁協の取組み状況を確認しながら、地元の学校などから参加してもらうことも必要かと考えております。また、江南区は水辺に囲まれていることが魅力の一つであり、公園など、それらを堪能できる場所があります。これは民間が主体で実施するものかと思えますけれども、阿賀野川沿いの公園を活用して、魅力を感じてもらえるイベントの開催を検討してはどうかといった意見、区内の名所にある案内板は合併前に作成されたものでデザインに統一性がない、魅力あるスポットをピックアップして、統一した、洗練されたデザインで作り直して、ツアーの実施を検討いただきたいというような意見がございました。

区づくり事業ということで、予算の制約や実現に時間がかかるかと思いま

すが、まちづくり部会でもサポートや検討をしていきたいと考えておりますので、前向きに検討していただければと思います。

○小林会長

ありがとうございました。続きまして、安心安全部会の山崎部会長、お願いいたします。

○山崎委員

安心安全部会からご提案します。

一つ目、「江南区安心・安全な地域づくりの推進」事業についてでございます。防災意識の高まりですとか、地域の防災力の向上など、組織的な取り組みを行うことによりまして、地域が一体となって活性化が見込まれることから、できるだけ早く区内全域の避難所運営委員会の立ち上げに向けて取り組んでいただきたいと思います。また、避難所運営体制連絡会の時間内で話し合いが終わりませんので、開催時間を長くしていただきたいと思います。それから、自治会などの地域を巻き込んで、ジュニアレスキュー隊育成講座を実施できないか、検討いただければと思います。

二つ目は「江南区ふれあい・ささえあいプランの推進事業」についてでございます。認知症カフェのような家庭内介護等で苦勞している人の居場所づくりを検討していただければと思います。それから、子育てしているママたちが、月に1、2回程度定期的に集まり、話し合い、困りごとなどの共有を行えるコミュニケーションの場を検討していただきたいと思います。

最後に、そのほかの意見、提案でございます。区の事業に関する情報などが必要な人に十分に伝わらずに活用されていないと感じることから、既存の広報ツールだけではなく、ターゲットに合った新たな広報ツールなど検討していただきたいと思います。

○小林会長

ありがとうございました。続きまして、環境・教育部会の間島部会長、お願いいたします。

○間島委員

環境・教育部会からの意見、提案です。既存の事業への意見、提案が二つと、新たな取り組みへの意見、提案が一つの、合計三つあがりました。

既存の事業への意見、提案の一つ目は、地域ブランド「亀田縞」の販路拡大についてです。小学校に亀田縞の生地を提供し、エプロンやトートバック

づくりに使ってもらうなど、学校との連携により亀田縞をさらに活用してもらいたいとの意見でした。

二つ目は、「みんなで語り、考える 使いやすい公共交通」についてです。高齢者のバス体験や現在行っている小学校区区バス体験乗車会を、区バス路線以外へ拡充することを提案します。

新たな取組みへの提案・意見は、現役ママたちの、ママ目線ならではの江南区PRについてです。子育てをしている母親を対象に、亀田縞を知ってもらい、エプロン作成などの体験、その体験などを発信していく事業を提案します。

○小林会長

ありがとうございました。今ほど3部会から説明いただきました。この内容についての質問またはご意見ございましたらお受けいたします。いかがでしょうか。

○間島委員

安心安全部会のジュニアレスキュー隊育成講座についてなのですが、西コミ協では、ジュニアレスキュー、中学校で開催する前に地域の人たちに消防署で講座の内容を確認していただき、中学生と一緒にジュニアレスキューのお手伝いをしていただくということをやってきました。ただ、コロナ禍になってからはできていないのですけれども。西コミ協が始めた当初、地域と学校と連携した活動でやってきたと思うのですけれども、いつの間にかそれがなくなったという現状があります。

参考までに。

○小林会長

このことについて、地域総務課でしょうか、何かコメントはございますか。消防署長がおいでになっていますけれども。

○松屋地域総務課長

今、新型コロナウイルス感染症の関係で、学校現場に人が入って来ることを嫌がっていますので、出席にあたっては必要最小限と言っていますか。そう言っていますよね。そういった状況もあって、今、地域の方に手伝ってもらおうという状況になっていませんけれども、また皆さんからお手伝いしてただけるといふことであれば、そういった形で地域の方を巻き込んで進むことも検討していければと考えています。

○小林会長

そのほかに、この件に関しましては、各地域に消防団の方にいろいろご協力をいただいていると思います。本間署長、何か消防からコメントはございますか。

○本間江南消防署長

今、会長からお話がありました。基本的に防災力を高めるということに関しては、大人だけでは非常に残念ですが、展力が少ないということで、地域の子どもたちと一緒に防災力を高める。その中で今地域の防災リーダーである消防団の方々が中心となってやっていくことが非常に実災害のときには有効だと考えております。

ちなみに、東区では、消防団の秋の、あるいは春の演習の際に、小中学校合同で、子どもさんたちと一緒に防災訓練をやっていただいているところもあります。

これからまたどんどん発展していくと思いますが、非常に、子どもさんたちと一緒にやることは有効だと考えております。

○小林会長

ありがとうございました。ほかに何かご質問、ご意見。

○今井委員

横越コミュニティ協議会の今井です。お願いします。

安心安全部会のその他の意見・提案のところでは広報ツールに関してのご意見があったのですが、既存のツール、そして新たな広報ツールというところはもちろんなのですが、情報収集をどこからしているのかというリサーチを一旦しっかりかける必要があると思っています。

インターネットとかSNSが普及して、やはりそういうネットをとおしてとかの発信を、私たちお仕事をしてもやはりそこに力を入れてはいるのですが、やはりそこで漏れてくる人たちは必ず一定数いて、子育て中のママたちなどと言うと、やはり紙媒体のほうがよかったりするのです。区だよりとか市報とかから情報収集をしているという方は、本当に、数年前から変わらず一定数いるので、その既存のものと新たなものとどう組み合わせたら効果が出るのかということは、現状の情報収集をどのように行っているのかということもリサーチをしっかりとする必要があります。

あと、地域で見守り応援事業の部分で、子育てしているママたちが集える

場というのは本当に必要だと思っていて、先日も別の支援団体の方とお話をしていたのですが、このコロナ禍で、コロナ禍の期間は、全く、妊娠、出産、育児とすっぽりはまっている人たちが声を上げられない、どうやって悩みや困りを人に聞いてもらったらいいいのか、聞いてもらうということすら経験をしていない人たちが出てきていて、コロナ禍が収束したからといってそれが解消されるわけではなくて、その経験が数年後まで続いていく、その時に体験がないとそのやり方を分からないまま数年後までいって、例えば学童期とかの悩みに突入していくということも、これから先、多分起ってくると思うので、ここから先の子育て支援、ママたちの声を聞く、ママだけではなくパパたち、おじいちゃん、おばあちゃんももちろんそうですけれども、子育てにたずさわる人たちの声をどのようにていねいに聞いていくかという場をどのように作っていくかということはすごく課題になってくると思うので、ていねいに江南区でも取り組んでいただければ嬉しいと思います。

○小林会長

ありがとうございました。区報、市報、区だより、これは前にも少し申し上げたことがあるのですが、新聞折込で出ているのです。そうしますと、最近、新聞購読の世帯が若干減っているというようなこともありますので、これはやはり個々にPRしながら、希望者には別途郵送していますので、その辺も地域ごとにコミ協だよりなどか何かで周知していただければ区報も確実に手元に届くのではないかと思います。それも各コミュニティ協議会の皆さん、知恵を出し合いながら少しご検討いただければと思います。

ほかに何かございませんでしょうか。なければ次に移りますが、この内容につきまして、各課で内容を吟味されましてご討議いただければと思いますので、各課長、よろしく願いいたします。

続きまして報告事項に移ります。

4. 報告

(1) 委員の辞任及び交代委員の就任について

○小林会長

委員の辞任及び交代委員の就任につきまして、推薦会議の山崎座長から説明をお願いいたします。

○山崎委員

山崎です。私から説明させていただきます。

資料 2 をご覧ください。先月の全体会議においても話がありましたけれども、支え合いのしくみづくり会議の佐藤連委員が今月 30 日付で辞任されました。佐藤連委員の辞任を受けまして、新たに工藤真美氏が推薦されました。ご本人より承諾もいただき、10 月 1 日付で就任することとなりました。部会につきましては、これまでの佐藤連委員同様、安心安全部会となります。

なお、交代委員の就任については、自治協議会推薦会議運営要綱に則りまして、座長専決と言うことで承認させていただきましたので、ここにご報告いたします。

○小林会長

ありがとうございました。佐藤連委員、9 月 30 日をもって辞任という形で、10 月 1 日から工藤委員が替わりに入ることですのでございます。今日、所用で欠席しておりますが、次回の自治協議会のごときにごあいさついただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

(2) 江南区選出議員との懇談会及び懇親会について

○小林会長

続きまして、江南区選出議員との懇談会及び懇親会の内容につきまして、地域総務課からご説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○土田地域総務課長補佐

区選出議員との懇談会について、ご説明させていただきます。

コロナ禍以前は、毎年、選出議員と自治協議会部会と一緒に懇談会、懇親会を行っておりましたが、コロナ禍ということでここ 2 年、やっていなかったということで、3 年ぶりに開催したいということで、日程調整をさせていただいております。

現在、今のところですが、12 月 22 日（木）、次の次になりますが、再来月の自治協議会のあとに開催することで調整しております。また、懇談会終了後には、区選出の 4 人の議員を含めて自治協議会との懇親会を開催させていただきたいと、今、調整しております。これに伴いまして、12 月 22 日の自治協議会本会議の開始時間を午後 3 時からということに変更させていただいて、4 時から区選出議員との懇談会、その後会場を移動して 6 時から懇親会という日程で考えております。来月、11 月の第 8 回江南区自治協議会の事前にお送りします資料の中に、懇親会の出欠票を同封する予定としており

ます。皆様お忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○小林会長

ありがとうございます。今ほどご説明がありましたように、長らく議員懇談会、新型コロナウイルス感染症の関係でやっておりませんでした。今回、区選出の4名の市議会議員の方も都合がつくということでございますので、12月に開催すると、今ほど申し上げたように、来月に最終的な出欠をとりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(3) 令和4年度区自治協議会全体委員研修会について

○小林会長

続きまして、令和4年度の自治協議会委員研修会について、事務局、松屋課長からお願いいたします。

○松屋地域総務課長

令和4年度江南区自治協議会委員研修会について、ご説明いたします。資料3をご覧ください。

区自治協議会の委員研修会につきましては、全区合同の研修会と区独自の研修会がありますが、今日のご案内は区独自の研修会についてです。

区独自の研修会につきましては、当初より、まちづくり部会で作成した曾野木のまちあるきマップや、曾野木コミュニティセンターが開設となったことから、曾野木地区をメインとした研修とすることとしておりました。先日開催されました総務特別部会において、資料のとおりの内容で実施することといたしました。

研修につきましては12月20日（火）午後2時に江南区役所を出発しまして、農家持ち寄り市場「採彩」、親松排水機場、曾野木コミュニティセンターを視察しまして、17時に江南区役所で解散という予定としております。

なお、研修会の出欠につきましては、こちらも来月の自治協議会資料を事前送付する際に同封させていただきますので、どうぞご参加のほど、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○小林会長

ありがとうございます。これも来月に皆さんからいろいろとお伺ひします。

曾野木コミュニティセンターが新しくなりました。そのところに、イルミ

ネーション、新しく移設してその日点灯するというので、その辺の内容も皆さんからご覧いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

(4) 江南区自治協議会各部会の報告について

○小林会長

続きまして、(4)の各部会からの報告をお願いしたいと思います。令和5年度特色ある区づくり予算についての意見、先に説明していただいたもの、それ以外の項目について再度お願いしたいと思います。

これも、まちづくり部会、田村部会長からお願いいたします。

○田村委員

先ほど説明した部分もありますので、簡単に説明させていただきたいと思っております。

審議内容といたしましては、「横越まちめぐりについて」ということで、先月29日に、今年度も横越のマップを作るということで、そのまちめぐりのコースを順に回りまして、そのスポットを自分たちの目で見てきたということでございます。そのための工程等の確認を行ったということでございます。感想といたしまして、横越は本当に見るところがたくさんありまして、昨年の曾野木と同様、川の旧河川の跡とかが非常に多くありまして、やはり江南区は川に囲まれた地域なのだということを再認識したところでございます。またこれから部会がありますけれども、今年度中に仕上げるように頑張っていきたいということでございます。

それから、令和5年度特色ある区づくり事業につきましては、先ほどの説明と相当だぶっているのですけれども、二つ目の「・」の真ん中辺りから「土地を手放したいが買い手がなく、困っているケースがある一方、新たに農家をやってみたいというケースもある」。このように悩んでいる、お互い、困っている方がいらっしゃるの、そういうことを相談できる場所が持てればよいというような意見がございました。あとは先ほど説明したこととほとんどだぶりますので省略させていただきます。

○小林会長

続きまして、安心安全部会の山崎部会長をお願いします。

○山崎委員

安心安全部会からご報告いたします。

会議概要なのですけれども、先ほどの報告と重複いたしますので割愛させていただければと思います。本日の部会で今年度の取組み内容について意見交換を行う予定としておりますので、よろしくお願いいたします。

○小林会長

続きまして、環境・教育部会の間島部会長、お願いします。

○間島委員

環境・教育部会から報告します。

今年度の事業として企画していましたが、10月10日に開催する予定としていましたので、エリアや役割分担などの最終確認をしました。残念ながら10月10日、雨が降る予報となっていることから、開催を取りやめ、延期とすることとしました。今年度中に開催できないか、西コミと話し合った結果、双方の日程が合わなかったため、自治協議会だけでも今年度中にスポGOMI大会を開催するか、また新しい事業をするか検討していきたいと思います。

○小林会長

ありがとうございました。続きまして、委員推薦会議、横木委員からお願いいたします。

○横木委員

山崎座長が不在であったために、私が代行をいたしましたのでご報告したいと思います。

第2回推薦会議の内容について説明させていただきます。来期の委員構成について意見交換を行いました。前回の会議では、委員数30名とするということで、コミ協選出の1号委員はこれまでどおり2名ずつとすること、それに加えて、特段見直しをすることなく、現在の構成団体及び委員に対して依頼することと決定しました。なお、資料にも記載のとおり、横越商工会と酒屋町商工会の委員数については、合併するときに再度議論することとなりました。今後、事務局から各団体に自治協議会への推薦依頼を送付させていただきます。事前にこの話を各団体の会長や代表者、あるいは担当者の方にお話していただければ、この委員推薦の流れがスムーズに進められると思いますので、よろしくお願いいたします。3号委員の個人のことについても同様に依頼させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○小林会長

ありがとうございました。

最後に、総務特別部会について私からご報告させていただきます。

去る10月24日に第2回総務特別部会を開催いたしまして、今年度の区自治協議会委員研修会についての意見交換、研修会内容等を決定いたしました。研修会の内容については先ほどのお話のとおりでございます。また、6月に実施した委員、皆さんへのアンケート結果について確認、意見交換し、希望のあった資料のメールでの送付について実施していくほか、認知度向上や活性化に関する意見については、事務局主体でできることから始めていこうということで、終始、お話が付いたところでございます。

(5) 地域課題解決サポートプロジェクトについて

○小林会長

続きまして、地域課題解決サポートプロジェクトにつきまして、はじめに亀田小学校区コミュニティ協議会、渡邊さんから内容のご報告をいただきたいと思っております。

○渡邊委員

よろしく申し上げます。坂井部会長がお休みということで、私、渡邊が代わりに事業提案をさせていただきたいと思っております。

本日の資料ですが、亀田小学校は今年度、創立150周年を迎えます。このコロナ禍でコミュニティ協議会の事業も多く中止となりまして、地域住民の絆が薄れがちなこんにちです。また、多くの住民が通ったであろう亀田小学校の歴史を振り返り、記念事業を開催し、誇れる地域であることを地域住民が再確認することで、明るく前向きな気持ちを取り戻してもらいたいという課題となっております。

事業計画概要といたしまして、亀田小学校近郊にイルミネーションを点灯し、光のオブジェで祝福したいと考えております。11月26日の夕方より点灯する予定であります。また、12月8日から12日の四日間、亀田地区コミュニティセンターにおきまして記念展示会を開催し、児童の作品や昔懐かしい写真などを展示するほか、地域住民による亀田小学校に関する絵画や写真などの作品も展示したいと思っております。

事業効果といたしまして、児童、保護者、卒業生、そして地域住民が一堂に会することにより、住民同士の交流が深まることが予想されます。シニア世代が中心のコミ協役員ですが、有志PTAと協働して事業を進めることで、

今後、コミ協に関わる人材の育成および活性化につなげていきたいと思っております。

事業費と事業収支、見積書は裏面になっております。どうぞよろしく願いいたします。

○小林会長

ありがとうございました。

最後に、次第にはありませんが、資料 6 として次期区ビジョンまちづくり計画案に対しての自治協意見をまとめたものを配布させていただいております。9 月に意見を各委員からもらいまして、10 月に各部会で意見を確認したものでございます。11 月の自治協議会で意見聴取を再度行うこととしています。意見が反映されるものについては、事務局の方で修正をお願いしたいと思います。ご意見がある場合は事務局へお伝えいただければと思いますので、この資料 6 につきましては、皆さん、再度お持ち帰りいただいて、内容をご検討いただければと思っております。

以上となりますが、全体をとおして何かご質問、ご意見等ございましたらお受けいたします。

○小野委員

酒屋町商工会の小野でございます。今月の 10 月 30 日、特色ある区づくり事業ということで、江南区文化会館 10 周年記念事業で、東大卒のクイズ王、伊沢拓司さんの講演会と、江南区クイズ大会が江南区文化会館で開かれる予定となっております。私のほうにも案内がきておりますので楽しみにしておりますし、江南区のところに大変有名な方が来られることで、皆さんと楽しむ笑顔が見られる形がまた一つここで進むのかなと期待しております。

この感想につきましては、こちらの事業が終了した後にお話したいと思っておりますけれども、広報させていただきました。

○小林会長

ありがとうございました。そのほか、今井委員。

○今井委員

横越コミュニティ協議会の今井です。今、私は横越中学校の P T A 会長をしております、江南区の小中学校 P T A 連絡協議会の教育講演会の担当校ということで横越中学校が今年の講演会の企画を行いました。開催が 11 月 26 日（土）亀田市民会館大ホールで 13 時 30 分から 15 時 20 分に行われる

のですけれども、テーマを、夢の叶え方とかコミュニケーション力のつけ方というところで考えたときに、どなたに来ていただくのがいいかと思って、江南区でもいろいろご登壇される機会の多いフリーアナウンサーの遠藤麻理さんに来ていただくこととなりました。学校ごとの申込み締切は一旦終わっているのですけれども、今回、横越中学校では、やはりコロナ禍というところで、開催中止のリスクとかも必ず付いて回るので、リアル開催と、プラス、オンライン配信というところを合わせてやることになっています。あまり大きな声で言えないのですけれども、私はけっこう負けず嫌いなので、このオンライン開催を併用するにあたって非常に反発を受けまして、学校の中ではICTが進んでタブレットが導入されていたりしているのだけれども、PTAの講演会に関しては必ずリアルでやってくださいということを非常に言われました。でも、リアルになったときに、やはり全部中止となることももつたいたないので、どうしても私たちはオンラインを併用したいですということで、教頭先生も一生懸命頑張ってくださいって、ハイブリッド開催が叶ったのですけれども、やはり、担当校でいろいろ動員とかの話もあるのですけれども、ここはぜひ、興味、関心のある方に集まっていただいて、しっかり聞いていただければ一番いいと思っていますので、興味のあるかたはぜひ聞いていただきたいと思います。

タイトル「自暴自棄から『自望自棄』へ」、自暴自棄は一般的な自暴自棄、プラス、自分に望むという字の自望自棄です、「～それでも夢はときどき叶う～」ということで、数多くの失敗とか挫折もご経験されている遠藤さんの体験を基に、夢のかなえ方であったり、新潟の郷土愛というところもぜひ入れていただきたくて、そういう意味でも、新潟弁なども交えてユーモアたっぷりにお伝えいただけるかと思っていますので、ぜひ、保護者ももちろん、子どもたちももちろん、おじいちゃん、おばあちゃんも地域の方も、皆さん、ぜひ聞いていただきたいと思いますので、会場も大丈夫ですし、オンラインでも聞いていただけます。区外の方でもオッケーということで教頭先生からはいただいているので、ぜひ、興味のある方はお聞きいただければと思います。よろしくお願ひします。

○小林会長

ありがとうございます。ということで、横越へ足をお運びいただければと思います。

最後の「5. 連絡事項・その他」になります。事務局からお願いいたします。

5. 連絡事項・その他

○事務局

事務局より、ご連絡させていただきます。はじめに産業振興課からのご連絡になります。

○塚本産業振興課課長

産業振興課の塚本でございます。私どもが展開する区づくり事業の企画について3枚、チラシを用意させていただきましたので、ご説明させていただきますと思います。

実りの秋、文化の秋、行楽の秋ということで、近々開催される企画が3本あります。

1本目は、北方文化博物館無料ウィークという形で10月29日（土）から11月6日（日）の期間、この期間に、既に配布させていただいた区だよりのチケットをご持参いただくと、本来800円掛かるところが無料で江南区民については入場できるという企画でございます。

併せまして、10月30日（日）と11月6日（日）の二日間のみではございますけれども、チラシの裏面にあるとおり、無料のシャトルバスを亀田駅、二本木・木津方面から北方博物館を巡るという形でご用意させていただきました。

特別企画といたしまして、10月29日、11月3日、11月6日、期間外ではありますが11月12日のご案内の会でございますが、残念ながらと言いますか大変ありがたいことに、11月3日のお茶体験、11月12日の大庭の回遊、既に満席ということで、ここは今申込みできないという形ですが、先ほどの遠藤麻理さんのお話も出ましたけれども、29日のトークショー、11月6日の麻理さんと歩く沢海のまちあるきなどはまだ受付可能ということですので、ぜひ、自治協議会委員からも、せっかくの機会ですので、少し、北方文化博物館、久々に行ってしまうおうかという形で参加していただければありがたいと思います。

二つ目が、三千年以上続く亀田の起源ということで、「亀田三・九(サンキュー)マルシェ」でございます。場所は、通称、亀田市場通りということで、本町通りと東本町の間、と言って分かる人は分かる、分からない人は分からない

と思いますので、リーフレットを見ていただくと、ああ、ここかという形で、三・九の市が開催されるところから緑のラインで示されております。昨年より少し充実を図りまして、農産物の販売やキッチンカー、その他物販などを用意して、11月3日の朝7時からお昼頃まで開催しております。昨年の状況をご説明しますと、早い段階でキッチンカー、特に食べ物系がなくなってしまうので、なるべく早い時間帯のほうがよろしいのではないかと考えております。当日は、亀田コミュニティセンターのご協力をいただきまして、こちらを駐車場という形でご用意させていただいております。もしよろしければ置いていただきたいと思っております。

三つ目が、これも区づくり事業で取り組んでおりますまち歩きの企画でございます。「今日は一日袋津三昧 亀田縞の郷」という形でご案内させていただきます。11月20日（日）、雨天決行でございます。参加費は一人1,000円という形で、中学生以下は無料です。定員は55名という形で、裏面をご覧くださいますと、Aコース、Bコース、Cコースという形で、袋津の中営機業という、セブンイレブン曙町店のすぐ隣に位置しております中営機業さんから、袋津を歩く、散策していただくという企画でございます。申込みにつきましても、現在、まだ受付中でございますので、私、もしくは今回のこの企画のコアメンバーである伊藤委員にお声掛けいただければ受付させていただきますので、皆さんから、袋津を歩いたことのない方、ぜひお出でいただきたいと思っております。

とりあえず11月3日は、まずは朝マルシェに来て、買い物をして、そのあと北方文化博物館に行って、餅つきをして、江南区を堪能していただくという形の鉄板ゴールデンコースという形でご案内させていただきますので、ぜひご参加いただきたいと思っております。

○事務局

最後になりますが、部会の開催についてご案内させていただきます。このあと、本会議終了後に部会の開催をさせていただきます。まちづくり部会委員の皆様は隣の入札室へお願いします。環境教育部会委員の皆様は301会議室へ、安心安全部会委員の皆様はこの会場でお願いいたします。いつものことですが、お手数になりますが、移動の際はご自分の名立をお持ちになって移動をお願いいたします。

○石澤委員

この袋にたくさん「袋津三昧」のパンフレットが入っているのですが、これはどうしたらよろしいでしょうか。袋津三昧のパンフレットが、厚さにすると 20 枚くらい入っているのですが。

○塚本産業振興課課長

コミュニティの皆様方には、役員会もしくは何かの機会に情報提供としてお伝えいただきたいということでご用意させていただきました。

○中野委員

袋津三昧で、定員 55 名というのは、各コース 55 名ではなくて、3 コース 55 名。

○塚本産業振興課課長

全部で、です。

○中野委員

分かりました。ありがとうございます。

5. 閉会

○中野副会長

本日、予定されていましたが議事はこれで終了いたしましたので、閉会いたします。

次回、令和 4 年度第 8 回目の自治協議会は 11 月 24 日（木）午後 1 時 30 分から開催いたします。よろしく願いいたします。お疲れ様でした。